

礫・砂・粘土、粒の大きさを体感しよう

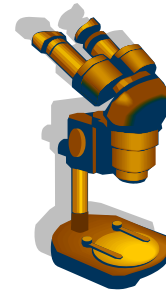
山口県防府市立桑山中学校 松村浩一

1 きみたちへのメッセージ

地面の土は、もともと岩石です。大きな石です。長い年月の間にぼろぼろに崩れていきます。やがて、小石に、砂に、もっと細かな粒になっていきます。よく見ると、いろいろな大きさの粒があります。ふるいを使って、粒の大きさを分けていきましょう。教科書には、大きさによって礫・砂・粘土と名前がついています。どのような性質があるか、さわってみましょう。道具を使ってよく見てみましょう。

2 用意するもの

- ・ 大型ふるい
- ・ 紙や「はけ」（砂や粘土を取り出したり、片づけたりします。）
- ・ 標本シート（砂や粘土を貼り付けましょう）
- ・ 総岩実態顕微鏡（粒を観察してみましょう）



3 観察の仕方

- ・ 双眼実体顕微鏡で、粒を観察します。セキエイや長石、磁鉄鉱などが見られます。

4 ふるい作業のコツ

- ・ ふるいをしっかり持って、前後左右にゆすります。強くしすぎるとこぼれるかもしれません。



ちがうおおきさのつぶまじって
いたのがわかります。

5 注意すること

- ・ 危険はほとんどありませんが、細かい粒を不用意にまいて、目などに入れないように注意しましょう。

6 問い合わせ先（もっとくわしく知るために）

- ・ 松村浩一 山口県防府市立桑山中学校 kuwano-j@c-able.ne.jp